

保護者の皆様

新宿区立津久戸小学校

校長 八田 瑞穂

「学校評価のアンケート」の集計結果と考察について

学習の項目に関して

・「あてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせると90%以上になる項目は、

1～5, 7であり、授業の進め方、取り組み等については、昨年度とほぼ同等な評価をいただきました。特に、1の「課題や目標をもつ」3の「調べ・考え・表現する」4の「発表や話し合い」、5の「読書活動」7の「地域や保護者の協力」に関しては、95%以上の肯定的評価がありました。また、「あてはまる」という評価だけを見ると、昨年度より数値が上がっています。特に5の「読書活動」については昨年度と比べて約10%向上しています。これは校内研究で取り組んでいる図書館活用の成果が表れ、保護者の方に理解をいただいたことと思われまます。

・「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせると10%以上になる項目は、

6の「適切な助言や励まし」については、昨年度より割合は減っているものの、十分とは感じられない保護者の割合が他の学習の項目と比べて多くありました。引き続き個々に応じた適切な助言や励まし、目配りや気遣いが授業や生活において教職員に求められていることが分かります。全教職員でより一層意識していくことが必要です。これらの声を受け止め、授業改善への努力をしてまいります。

生活の項目に関して

・「あてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせると90%以上になる項目は、

8～11であり、昨年度と同等の評価をいただいております。10の「異学年交流」については、「あてはまる」と「だいたいあてはまる」が95%を超え、これまでも多くの方に認められていましたが、今後も継続が期待されています。

・「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせると10%以上になる項目は、

12でした。「あいさつや返事、丁寧な言葉遣いができる習慣」については、継続して指導に力を入れてまいります。生活指導全般にわたって、人権意識を高め、自発的に前向きに取り組む児童の育成を目指して、さらなる努力が必要と考えます。

その他の項目について

・「あてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせると90%以上になる項目は、

全ての項目において昨年度とほぼ同等な評価をいただきました。特に15「校舎をきれいにし、安全で気持ちのよい教育環境」は、昨年度同様、95%を超える高い評価をいただいております。季節ごとの掲示等にも気を配り、環境整備に努力してまいりました。この環境整備は、職員だけではなく、年間を通して携わってくださっている地域のボランティアの方々等の協力や支援も大きいものです。これからも、計画的に様々な工夫をし、安全で気持ちのよい教育環境整備に一層努めてまいります。

新宿区共通項目について

- ・17の「いじめ等への相談」については、90%を超える肯定的な評価をいただきました。ふれあい月間で行っているアンケートや相談日などの取り組みに評価をいただいたものと思われます。今後、より一層、毎学期一度の相談日以外にも、いつでも相談しやすい雰囲気づくりに努め、迅速な対応に努めてまいります。
- ・18の「学校の授業に満足している」についても、95%を超える肯定的な評価をいただきました。学習の項目で肯定的な評価をいただいていることがこの回答にもつながっているものと思われます。
- ・19の「ICT機器を活用した授業」については、90%を超える肯定的な評価をいただきました。昨年度より7%向上しました。また昨年度は「あまりあてはまらない」「あてはまらない」という評価が10%以上ありましたが、今年度は5%以下に減少しました。夏休みに新しいICT機器が導入されたことにより、積極的な活用を心がけていることが表れているものと思われます。
- ・20、21の「地域を生かした活動」「子どもが地域の人と一緒にいる活動」についても、90%を超える肯定的な評価をいただきました。「7」の結果からも分かるように、地域の方々（阿波踊り、神楽坂のお店、熊谷組）との交流や活動が子どもたちにとって効果的であることが認められています。

ご家庭の様子について

- ・22の「あいさつや丁寧な言葉遣いや、お手伝いなどのしつけ」については、昨年度より肯定的な評価が7%増えました。しかし、依然として否定的な評価が高い項目であるため、子どものやる気を育て、規範意識や宿題等の家庭学習習慣を身に付けていく必要があると考えられます。家庭・地域と学校の連携を強めていきたいです。
- ・24の「携帯電話やインターネットに関わる適切な利用」については、昨年度より肯定的な評価が10%向上しました。SNS 東京ルールやセーフティ教室などを活用して、携帯（スマートフォン）の使い方を繰り返し指導してきた成果が表れ始めた結果ではないかと考えられます。携帯（スマートフォン）を持つ子どもが増加している今、家庭内でのルールの形成が不可欠となっています。子どもは自由に使いたがりますが、なかなか適切な利用ができないこともあり、フィルタリングや明確なルールで使い方を約束させないと危険です。今後もより一層啓発していきたいと思えます。
- ・25の「ボランティアなどの教育活動への参加」については、昨年度と同等の評価をいただきました。保護者の皆様が大変お忙しい中、阿波踊りや読み聞かせなどの様々な地域・PTA活動、学校行事へのご協力、ご支援等、家庭でも意識して取り組んでいただいているものと感謝しております。

自由記述について

- ・好意的な意見をたくさんいただきましたが、12や22の項目でも分かるように、言葉遣いやあいさつについての意見もいただいております。いただいたご意見を大切にして今後の教育活動にあたっていきたいと思えます。
- ・無記名にしたほうがよいや厳しいご意見もありましたが、記述に対して、すぐにご説明が必要な場合があり、円滑に改善を進めるためにも、記名をお願いしています。また、厳しいご意見に関しましては、個人面談等でお話をさせていただきました。

「学校評価アンケート」の結果を昨年度の内容と照らしあわせて考察いたしました。次年度の計画にいかしてまいります。

また、アンケートの回収率が98%は保護者の皆様の高い意識の表れと感謝しています。ご協力ありがとうございました。